

かくどけい

KAKUDOKEI 2012

102号



社団法人熊本県理学療法士協会
広報誌「かくどけい」
平成 24年 3 月 19日 発刊



- 001 巻頭言 「歴史観」 野津原 豊
- 002 理事会報告
- 007 各部・委員会報告
- 学術部
- 保険部
- 渉外部
- 学術事業部
- 教育部
- 規約審議委員会
- 調査資料部
- 生涯学習部
- 福祉部
- 表彰審査委員会
- 宣伝部
- 013 事務局だより
- 014 くまもと北から南から
- 015 大観望 「後悔しないということ」 木原 伸一
「介護報酬改定を受けて」 星澤 厚志
- 016 学会・研修会印象記
「全回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 19回研究大会 in 京都に参加して」
「第16回熊本県理学療法士学会に参加して」
- 017 他士会便り 「ターニングポイント」 神奈川 No. 243
学会・研修会のお知らせ
- 018 よろず運動療法相談所 ～スポーツ小委員会～
- 019 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 020 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 021 国際医療福祉大学大学院紹介
賛助会員一覧
- 022 事業予定表
医療機器トピックス
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 歴史観 』

理事 野津原 豊(野津原内科医院)

熊本県理学療法士協会会員の皆様、日々のお仕事お疲れさまです。理事の野津原でございます。

今、熊本県理学療法士協会は新たな歩みを始めました。ご存知のように、一つは公益法人化であり、もう一つは協会組織の改編であります。公益法人化が実現したら、当然の如く“公益事業”を推進しなくてはなりません。会員の皆様のご負担も増えるかもしれません。「ただでさえ自分の仕事で精一杯のところ、何故今より更に協会活動に協力しなくてはならないのか」と、ご不満の声も聞こえてきそうです。“公益法人化”の目的とするものの一つは“理学療法士の社会的認識度の向上”です。我々理学療法士が、国家資格として認識されたのは、1965年(昭和40年)に「理学療法士及び作業療法士法」(法律第137号)が制定された事によります。我々の先達は、当初理学療法学を学ぶために、英語の教科書を使用し、外国人の教師から授業を受けたと言います。いわば明治時代の海軍・陸軍創設時の様な苦勞をしたわけです。そして昭和41年7月17日に有資格者110名により、日本理学療法士協会が設立されました。さらに昭和46年厚生省(当時)により、「社団法人日本理学療法士協会」として認可されました。これにより“理学療法士”という看板が正式に掲げられた訳です。確かに当初は医療界でのニーズが高く、報酬面でも今とは比較にならないくらい高収入を得ていた時期もありました。そのことにより、やや自分たちの足下が疎かになっていたことも否めません。現在は、養成校の増加・有資格者の増大、それに加えて、少子化や社会状況・環境の変化で、国家予算も疲弊化し、我々理学療法士の世界も厳しい状況になっています。日本理学療法士協会は、過去の反省も踏まえ“理学療法士のさらなる専門性の確立”という、今までの命題に加え“理学療法士の職能強化”による地位向上にも力を入れています。我々も理学療法士として、過去の歴史をしっかりと認識し、次世代の理学療法士達にしっかりと「理学療法士」の看板を手渡さなければなりません。皆さんも想像してみてください。自分が高齢者となり、お孫さんを膝に抱いている情景を。お孫さんがあなたに聞きます「おじいちゃん(おばあちゃん)は若い頃、どんなお仕事していたの？」その時あなたはどうか答えるでしょう？私はこう答えることが出来る事を願います。「おじいちゃん(おばあちゃん)はね、理学療法士という仕事をして、障害を持つ人たちの手助けをしていたのだよ」と、そしてそれを聞いたお孫さんからこう言われる事を「理学療法士！リハビリの先生だね！偉いなあ」と。当然その背景には、その時まで理学療法士という名称が生き残り、さらには今より社会的認識度が向上していなくてはなりません。確かに現状は、我々理学療法士にとって厳しいものかもしれません。しかし我々の時代で、理学療法士の歴史の流れを止めるわけにはいきません。歴史の途絶えた世界はその時点で終わりです。我々は、理学療法士の歴史を形作る一員として、確固とした過去・現在・未来にまでを見通した“歴史観”を持ち、さらなる飛躍を胸に秘め、次世代へ誇りを持って“理学療法士”の看板を手渡していこうではありませんか。近々、理学療法士の歴史を再認識し、未来へつなげていく座談会形式の催しを企画する予定です。その時は是非、皆様の参加をお待ちしております。



理事会報告

平成23年度 第3回拡大理事会議事録(要約)

日時：平成24年1月11日(水)19:00~20:15

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・三宮・

田島・野津原・野間・筒井・光本・増田

(監事)中島

(部長・委員長)

山本(総務部)・岸本(調査資料部)・佐藤(広報部)・草

野(宣伝部)・岩下(IT事業部)・今屋(学術部)・前田

(教育部)・岩田(学術事業部)・星澤(生涯学習部)・木

原(福祉部)・保田(事業部)・山下(表彰審査委員会)・

大籠(法人事業審議委員会)・奥村(選挙管理委員会)

・溝田(規約審議委員会)・市原(小児領域小委員会)

西村(スポーツ領域小委員会)

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)前田 (監事)寺川 (相談役)森重

(事務局員)坂本

(部長・委員長)

藤原(厚生部)・久米野(財務部)・福島(庶務部)・江藤

(保険部)・溝上(糖尿病小委員会)・前本(呼吸領域小

委員会)

書記：城戸(複合ケアホームはなぞのケアセンター)

平野(介護老人保健施設てんすい倶楽部)

1) 平成24年度事業計画(案)・予算(案)について

【事務局】

(坂崎)手元資料に沿って、事業計画と予算について説明する。※別紙参照

書式変更点として、各事業の上段にある「理学療法を通じて県民の医療・保健・福祉の向上に寄与するための事業」等について、定款における事業目的の番号としていたが、県庁からの指摘を受けて、記載順の番号とした。

P1 スポーツリハの研修会の開催については通算の回数の記載に変更している。

P3 小児領域の勉強会は公1の領域の位置づけにしている。ホームページの位置づけは県民向けの情報発信ということで文言を変更している。

P4 公2の領域にあたる事業の記載となる。

一部県の指導を受けて変更となっている。

P7 理学療法士協会の講習会は県の指導のもと公2ではなく共益の項目への変更で位置づける。

P8 会議に出るだけのものに関しては共益の方に移行するようにとの県の指導を受けて変更している。

P9 公3領域となる。会員・専門職向けの公益講習会を開く。

P11 卒後教育研修・生涯学習研修会の記載がある右側の小児 公1に変更して外向きの研修会としての位置づけにしている。

P12 広報誌かくどけいの発行が紙媒体ではなくなり、一般向け・関連団体向けとして110部の印刷へと次年度は変更する。

アンケート調査は共益の事業に変更

P13 差し替えの資料を参照

生涯学習のプログラムのシステムが次年度から大幅に変わる。

P15 共益事業：公2にあった理学療法士講習会を共益事業に置き換える。

P16 関連団体との連絡調整：公2から共益へ移行。

P18 差し替え資料確認：生涯学習システムが大幅に変更になるが、別途時間をとって説明会を開催したいという意向がある。

P19 渉外部の公益事業に関する連絡調整は管理領域へ移行した。

総会の開催：5/20に開催の方向で調整中。

(坂崎)次に予算についての説明を行う。

事務局：次年度はパートを半日で雇用し、その分の経費が増える。

厚生部：福利厚生として傷害保険に継続して加入。

調査資料部：渉外部：福祉部：今年度同様。

保険部：CDの作成に関する費用がかかっている。

広報部：広報誌かくどけいの配布方法が変更。HPの活用で代用。会員向けの発送はなくなる。

宣伝部：基本的に動きに大きな代わりはない。

IT 事業部：基本的には大きな代わりはない。現在のノートパソコンは古い為、購入を検討。

学術部：研修会案内分の郵送費が増額。

教育部：ほぼ決まりである。

学術事業部：市民公開講座が次年度は1回が2回になるので増額。

生涯学習部：差し替えあり。差し替え資料参照。カリキュラムの内容変更あり。

事業部：事業計画にもあったように所属と宿泊費が大きな額になっているので、妥当かどうか再検討を願いたい。

小児領域小委員会：小児リハの詳細がもっと分かればご検討を。通信費は足りるのか再度郵送費について検討を。

呼吸領域小委員会：参加費の内訳についてご提示願いたい。

スポーツ領域小委員会：広告という所で熊日のタウンケットを利用することにより増額。

ブロック：ほぼ例年通り。

以上、ご提示いただいた予算である。

(会長) 各部・委員会から質問はないか？

(佐藤) 広報誌かくどけいが他団体向けになることで発送作業はスリム化ができたと思う。発送作業を会議と別に設けることがあると思うが、その際の会議費や交通費は予算として組み込めるのか？

広告収入が0になることが予想されるのではないか？今後ホームページに移行するのであれば閲覧する方も出てくると思われる。ホームページでかまわないのであれば、かくどけいの発送をやめてしまうことで費用も発生せず、折り込み作業などの手間と時間を省ける。

(坂崎) 発送費を予算に組み入れたことに関して、計いくらになるのか？確認して後ほど報告する。

(会長) CD で出していたかくどけいを来年から出さない。ゆくゆくはすべてホームページ上で行いたい。今のところはファックスなどで別途かくどけいが

発行されたこと研修案内なども含めて案内・連絡していく。

(田島) 今現在ホームページの改訂を行なっている。今はマイページに登録されているところに発信がいく。ホームページへの登録を徹底するようにすればそれらの問題は改善できるのではないかと？

(会長) 各会員に対してホームページをきちんと確認するように徹底したい。すべての情報がホームページから発信することを意識させてください。

しばらくはFAXでの連絡を併用するという形で進めていきたい。

(今屋) 郵送や通信費などに関しては、各部急に組み込んでいっていると思うが、各部で通信費の予算がばらばら。部員としては、郵送作業が手間になるので、ホームページ使用の方向で取り決めていただきたい。

(会長) みていない会員が出てくるのが予想される。ペーパーレス化を進めるが、はじめのうちは通達方法を併用する形で行わないと機能しない可能性がある。会員のHPをみる習慣がつくまでは併用期間が必要であり、総会や理事会でも今後発信していく。年度前半に事業を行う予定がある部門などは通信費を予算として組み込んでほしい。

(前田) 教育部は通信費を付けていただく必要がある事業がある。管理者カリキュラムなど施設長宛にパンフレットも同封して発送(140円程度)するので費用がかかる。会員のHP閲覧の割合は低いことが感じられるので、加入率を見ながら移行していくのが妥当と言える。

(坂崎) 郵送費などについては前田部長の発言の通りでなかなか統一が難しいことを理解頂きたい。部会の交通費や会議費までは図ることが難しいのでその点も理解していただきたい。

(佐藤) 会議費は予算に組んだ方がよいと考えてよいのか？タイミングがずれると別途会議を設けないといけなくなる。

(坂崎) 必要であれば各部の判断で予算にあげてよい。会議回数を増やす方がいいのか？会議の中に発送まで含めるのかはご検討いただきたい。

(岩下) 現在の HP の訪問者数 1200~1300 件。一般の方か会員の方かの区別はできない。これらの数値も参考にしながら今後の HP のあり方を検討していただければよいと思う。

(会長) HP でもある程度事業予定は事前にわかる。他部との事前調整を行うなどして、最終的にはペーパーレスにもっていきたいが、現時点では必要予算は上げてよいので、各部で工夫して行ってほしい。

(坂崎) 佐藤部長のご指摘はもつともである。会議費などの予算が必要という部などが他にもあれば、来週の火曜日までに提示していただければ変更して理事会で最終確認を行いたい。

(会長) 制度が変わり混乱もあるだろうが、方向性を理解した上で各部協力をいただきたい。変更などあれば3月の総会までに必要な報告事項を提出していただくようお願いする。

(前田) 臨床実習教育の研修会だが、現在 100 名の募集に対して 41 名と少ない状況。継続して対象者があれば声かけをして申し込みしていただきたい。

(山下) 表彰審査委員会：りんどう賞の候補者・対象者の選出の時期になった。積極的に推薦などで協力いただきたい。

(星沢) 生涯学習部：今回新人教育プログラムの大幅な改訂があり、選択テーマに関しては生涯学習部でやらなくてもよいとなっている。神経疾患、運動器疾患、内部疾患などに関しては学術部や各委員会での研修会を利用して単位を取るという形にしたいので、各部長の協力をいただきたい。3月の総会で5月からの新システムの説明を行う。また、次年度から手帳が無くなり HP 上での管理になる旨を各職場で伝達していただきたい。

(西村) スポーツ：熊本城マラソンのボランティア募集に関して。スケジュールはどのように進める予定にあるのか？

(坂崎) 現在 11 名のボランティアが集まっている。15 名まで増員して関わりたい。西村部長へレクチャーの時間調整依頼につなげたい。

(大脇) 2/5、熊本訪問リハの研修のお知らせ。排痰吸引の研修会を予定している。実技込みでの研修

会となるので申し込み希望があれば協会 HP から申し込みが可能なので是非声かけをお願いしたい。
以上、閉会

平成23年度 第11回理事会議事録(要約)

日時：平成24年1月11日(水)20:30~23:00

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事) 北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上

三宮・田島・野津原・野間・筒井・光本・増田

(監事) 寺川・中島

(事務局員) 山本 (事務職員) 石黒・前田

欠席者：

(理事) 前田 (相談役) 森重

(事務局員) 福島・久米野・坂本

書記：城戸(複合ケアホームはなぞのケアセンター)

平野(介護老人保健施設てんすい倶楽部)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

◇公益法人対策特別委員会

(坂崎) 県庁からいただいた箇所の修正中。再確認後、電子申請に移るという段取りに入っている。

◇情報共有推進特別委員会

(田島) 査読システム文言の修正中。進捗状況は 30% 程度。次年度予算について見積りが上がってきており、それについて検討する。

◇訪問リハ対策特別委員会

(大脇) 熊本訪問リハ研修協議会の研修会は 2/5 に開催。対策特別委員会は 1/16 開催予定。

◇渉外活動推進特別委員会

1. 熊本城マラソン支援について

(坂崎) 15 名が予定、時間のある役員は協力頂きたい。町づくり条例が 4 月から始まると連絡があった。県から条例説明にきてもらうように日程調整を行う。熊本県立あしきた青少年の家主催の高齢者向けの運動の依頼がきている。

(会長) 熊本県医師会から依頼あり。阿蘇圏域で脳卒中地域連携クリティカルパスの推進部というのがあり急遽 2/12 に内牧のホテル角萬で研修会を開催

することとなった。菊阿ブロックを中心に声掛けを行なうが、時間がある方は是非参加をいただきたい。

◇組織検討特別委員会

(会長)12月に2回会議開催。組織の分掌規程についても含め、ある程度案をまとめている。次回1/15で案が固まれば理事会に提出したい。

2) 連携学会におけるシンポジストの選出について

【野間理事】

(会長)野尻晋一氏(介護老人保健施設清雅苑)に引き受けていただくことで決定。

3) 「熊日・スミセイさわやか介護セミナー」について

【光本理事】

日 時：1月21日(土)12:00~17:00

場 所：熊日日新聞社本館2階ホール

テーマ：「脳もいきいき、

らくらく介護予防体操」

派遣者：光本しのぶ 他4名

(光本)今年は1/21(土)に開催。我々の体操指導の前には川畑氏から「認知症とリハビリテーション」で講演をしていただく。190名の参加申し込みあり。

2. 協議事項

1) テーピング講習会の広報について

【スポーツ領域小委員会】

2/26開催のテーピング講習会の広報について、下記の内容にて熊日タウンパケットを利用して広報する。 ¥27,300×2回(1/22(日)・2/5(日))

2) 会計事務所の変更について

【事務局】

平成24年度からの変更に向けて調整する。

3) 新定款並びに定款細則の変更について

【公益法人対策特別委員会】

今回の変更は公益法人申請に伴う変更となる。第46条 末尾の文言が間違っており、第44条第2項に修正する。第48条 第2項は、必要ないと指摘があり第3号共々削除する。

細則16条 委員会という名称に変更したほうがよいという指摘があったので文言を訂正した。「置くことができ」という文言を「置く」へ修正している。

4) 熊本市介護認定審査会委員の推薦について

【事務局】

推薦委員数：8名 (現7名)

(会長)野津原理事の返事を待ち、難しい場合は個別に依頼していく方向性とする。

5) 平成23年度予算書の変更について

【事務局】

指摘を受け、事業計画を入れ替えた。それに伴い予算変更。理事会で承認を得、再度県庁に提出する。今回の修正で66.3%が公益目的事業比率になる。(会長)今年度は2回の補正予算を組む形になる。きちんと説明できるようにしておくこと。

6) 会員向けの情報発信について

【事務局】

広報誌が送付中止による各種案内に関して①各部が責任を持ってホームページにアップする②ホームページにアップされた研修会内容を事務局に報告し、事務局でとりまとめて毎月半ばにFAXにて配信する。③自宅会員及びFAXなしの施設にはハガキにて送付する。基本的には25年度から完全なHP中心の情報発信を行なっていくという形に移行することで対応したい。

7) 保険部部長の交代について

(第10回理事会継続審議)

【保険部】

(光本)今現在、第一病院の河島氏で進めている。次の理事会で審議していただきたいと思っている

8) 渉外セットについて(第10回理事会継続審議)

【渉外活動推進特別委員会】

(会長)筒井理事より骨模型をいただいた。幟においては前回の会議で承認をもらっていたので、出来るならば早い段階でつくりたい。もし予算がつくようであれば早い内に作製をできるように今後取り掛かっていきたい所である。

9) 平成24年度事業計画(案)・予算(案)について

(第10回理事会継続審議)

【事務局】

(坂崎)公益法人制度への対応について、確認事項あり。事業計画において重点事業の文言がこのままで良いか再度確認したい。次にお金についてであるが、資料を参照・検討していただき、最終的に予算を取りまとめていきたい。

(会長)専用サーバースペース利用料とSSLキー更新の予算はこのまま。運営サポート料は業者と交渉し

予算を検討する。コンテンツ仕様変更は行なわない。記事の登録はこちらが行なう為、費用はかからない。交渉は田島理事に、契約は事務局の方で対応。毎年必要な経費はIT事業部に入れ込んでもらおうと良い。今回は確定が難しく、来年度は特別委員会の予算へ入れる。次に周年事業について。

(坂崎)市内ホテルで200名程度のパーティを開催するイメージ。記念品を渡し、数名の方に感謝状を贈呈するレセプションを行なう。

(会長)変動あると思われるが、予算計上の必要あり。運営サポートに関しては交渉の結果を持って情報推進化特別委員会の方へ入れる。公益法人の記念式典に関しても今の方向性で予算を組んでいく。最終決定は次回の理事会にて審議頂き承認を得る。

重点事業について確認を行う。まず事業計画の文言と内容の確認をしていく。5つの重点事業において継続していくということで前回の特別委員会で承認をもらっている。公益法人になった場合、落ち着くまで1年間はかかるということ、また1回で承認されるかが問題であるという点で経費が必要となる。

次に2. 情報共有の推進に向けてである。

来年度もIT事業部と協力し進めていくことで継続する。情報の管理をどこが責任をもってやるかが問題。管理面においてランク付けを行い、来年1年をかけてすみわけをしていただき、事業の中に組み込んでもらいたい。

個人情報を入力管理と入力 of 推進も考えていく必要がある。HPが本格的に稼動していくなれば、きっちり運営していけるよう会員への呼びかけが必要。その辺も含め、検討を願いたい。予算については先程の交渉項目次第で変動があると思う。

3. 訪問リハビリテーションの体制強化について
訪問リハビリテーションに関しては未定である。組織改編を行なうまでは特別委員会の方で継続していくという形でやっていきたいということで残す。引継ぎという点に関して今後どうするかという文言も付記頂きたい。予算についてはこのままとする。

4. 協会目的を達成するための渉外推進について。
公益事業を増やしながら、県や市に対して少しずつ働きかけが必要。今度の組織改編で政策企画室を作り、公益事業推進・アピールを行なっていきたい。対外関係との強化に関して、市町村にも政策の提言をいれる。その中に具体的な対策も入れ、何年間か継続的に活動を行なえるようにする文言を入れる。

5. 組織の検討について文面通りであり、今継続して行なっている段階。来年5月の総会ではある程度案をまとめ、承認をもらう形にしたい。その上で来年度は少しずつ移行もしていかなければいけない。移行についても検討が必要。予算については会議が主なのでこのまま継続する。

第2回の学術研修会において1単位1万5千円として9単位払うという予算で承認。今後このように原則と違う場合は理由を明確にして事前に出していただき、理事会で承認をとる形をとりたい。類似でもう一点。教育部の管理者教育カリキュラムの件について、講師を変更するという案がでている。交渉待ちの状況ではあるが、交渉成立すれば今年度は依頼する。熊大准教授の先生については次々年度のことも含めて何らかのアプローチを行なっていただきたい。予算の枠内には収めるように話を進めてもらいたい。最終的には2/1の理事会で決定となる。

10) その他

(会長)熊本県立あしきた青少年の家主催の「高齢者向けプログラムのスキルアップ」について講師依頼が来ている。参加可能な理事がいれば連絡を。

(野間)連携学会が3/2にあるので、その時の受付要因を募集してあると思う。

(会長)次回までに考えておいていただく。出られる方は出来るだけ参加を。その他何かないか。

(川上)1/25(水)19:00から在宅サービスの手引書の研修会が行なわれるので私が参加をする。

(会長)その他、何かないか。

(坂崎)賛助会員懇談会の準備を進行中である。開催は1/27である。

以上、閉会

各部・委員会報告

学 術 部

部長 今屋 将美

会員の皆様、今年度も学術部の活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございました。去る1月29日をもって平成23年度すべての事業が終了しました。今年度も当研修会へ多数のご参加を頂き大変感謝しております。研修会に参加された皆様におかれましては、是非周囲の会員各位にもお声かけ頂き、今後益々研修会が发展しますようにご協力いただけますと大変幸甚に存じます。よろしくお願いたします。

それでは、平成23年度最後の研修会報告をいたします。

【終了報告】

○第3回学術研修会

期 日：平成24年1月29日(日曜)

テーマ：「セラピストのための脳・神経科学」

講 師：高草木薫先生(旭川医科大学 脳機能医工学
研究センター 教授)

会 場：熊本保健科学大学

対 象：医療関係職種

参 加：136名(定員120名)

(会員118名、非会員18名)

この度、旭川医科大学の高草木薫先生をお招きし、「セラピストのための脳・神経科学」と題し、脳・神経科学について基礎的な内容を中心に分かりやすくご講演して頂きました。

世界的にご活躍されている著名な講師ということもあり、参加者136名と定員を大きく超え、会員外の理学療法士や作業療法士、言語聴覚士の方の参加もあり、多くのセラピストの関心の高さが伺えました。

午前中は脳の基本的な機能を解剖学な構造に基づき説明していただきました。午後からは姿勢と歩行の神経機構について、パーキンソン病など症例を交えながら解説していただきました。臨床で目の当たりにしている現象との繋がりにより、新たな気づきを得ることが出来ました。また、当たり前ながら日々の研鑽の大切さを改めて痛感しました。

この研修会を通して、飛躍的に発展し続けている脳・神経科学をリハビリテーションにどう活かしていくか、という考え方の一助になったのではないのでしょうか。

ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。



(担当：合志第一病院 木原誓子)

【平成24年度の予定】

以下に平成24年度の研修会ラインナップをご紹介します。(日程、テーマ、講師のみ)

★第1回学術研修会★

平成24年6月16日(土)・17日(日)

「ボバースアプローチの臨床応用」(仮)

大槻利生先生 (上伊那生協病院)

★第2回学術研修会★

平成24年9月1日(土)・2日(日)

「足底板療法の最新知見」(仮)

入谷誠先生 (足と歩きの研究所 所長)

★第3回学術研修会★

平成24年11月24日(土)・25日(日)

「関節機能解剖と肩関節障害」(仮)

林典雄先生 (中部学院大学リハビリテーション学部
理学療法学科)

●平成 24 年度理学療法士講習会(応用編)
平成 24 年 8 月 18 日(土)～8 月 20 日(月)
「徒手の理学療法-Mulligan Concept:神経モビライゼーション」
Kim Robinson
(PT、徒手の療法認定理学療法士、Curtin University 大学院 徒手の理学療法プログラム非常勤講師、Mulligan Concept 公認講師)
Toby Hall
(PT、理学修士、徒手の療法認定理学療法士、Curtin University 大学院 徒手の理学療法プログラム非常勤講師、Mulligan Concept 公認講師)

いずれの研修会も、全国的に著名で日本のトップをリードされる先生方の研修会となります。参加ご希望の方はお早めにお申し込み手続きをお願いします。最新情報、詳細は次年度のかくどけいで随時お知らせしますので、学術部の報告にご注目下さい(不確定なものもありますので、最新の情報は県士会 HP でご確認下さい)。ご不明な点をご遠慮なく下記アドレスまでご連絡下さい。次年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

学術部部长：今屋 将美(熊本機能病院)
E-mail：imayamasami@yahoo.co.jp

保 険 部 部 長 河 島 英 夫

平成 24 年度第 1 回保険診療研修会を下記の日程で行います。詳しくは同封の研修会案内をご参照ください。

<第 1 回保険診療研修会>

日 時：平成 24 年 4 月 24 日(火) 19:00～21:00

場 所：フードパル熊本

熊本市食品交流会館多目的ホール

テーマ：「リハ関連の診療報酬改正点について」

講 師：(社)熊本県理学療法士協会 保険部 河島 英夫

次年度は、医療保険と介護保険の同時改正の年になります。すでに多くの情報を入手されている事かと思いますが、第 1 回保険診療研修会は、診療報酬の改定点についてお知らせしたいと思います。奮ってご参加下さい。

研修会場は、270 台駐車可能で 300 名収容のホールとなっております。参加費は、会員 1 人 1,500 円となっております。何卒ご了承ください。多数のご参加をお待ちしております。

なお、第 2 回保険診療研修会は介護報酬の改正点について行なう予定です。改めてご案内いたしますので、こちらもよろしくお願ひいたします。

渉 外 部

部 長 坂 崎 浩 一

平成 24 年 2 月 19 日に開催された、第 1 回熊本城マラソンに当会から 16 名の会員が参加し、ランナーのサポートにあたりました。

場所は 35 キロ地点第 6 中継所。先ずは一張りのテントにベッドとマットとストーブを持ち込むところから準備を始めました。どのような状況になるのか全く予想できない中、受付対応の流れ、マッサージやストレッチ・アイスパックの確認など打ち合わせを行いました。場所が復路終盤の設定だったため、前半はランナーの応援や、FMラジオの取材対応等で時間が流れましたが、正午あたりからの約 3 時間はメンバーフル稼働で対応しました。

ボランティアメンバーの約数は沿道に出てアイスマッサージやエアサロンパスの噴霧・簡単なストレッチ指導を、残りの半分はテントにてストレッチとマッサージ実施、対応人数は沿道で 400 弱、テントでは 90 名を数えました。小雪も舞うほどの寒さでしたが、対応したランナーの殆どは、リタイヤすることなくレースに戻って行かれ、充実感に満ちたボランティア活動した。

また、今回の活動を通じて、事前準備やサポート体制、当会の PR 方法など、会として取り組むボランティア活動のあり方について様々な課題も見えてきました。次年度に向けて活かせるよう、取り組んでいきたいと思ひます。



学 術 事 業 部

部 長 岩 田 輝 彦

○学術雑誌・書籍の貸し出し事業について

平成 24 年 2 月 19 日(日)に開催された、熊本県理学療法士学会の会場にて学術雑誌・書籍の貸し出しを行いました。たくさんの方にブースへ脚を運んで頂き協会所有の学術雑誌や書籍を手に取り、読んで頂く事が出来ました。今回はより多くの会員の皆様に利用していただく事が出来ました。ありがとうございます。また、天草ブロックの学会スタッフの方々にも設営など協力頂きまして大変ありがとうございました。今後も、学術雑誌・書籍の貸し出しを行っておりますので皆様のご利用をお待ちしております。

いつもお世話になっております。教育部部長の前田です。あの東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)からあつという間に1年がたちました。被災地へ赴き、ボランティアに参加したり、職場や部署で募金を募り、あるいは文房具を集めて被災地へ送ったり、各々思い思いに復旧に向けて支援活動をしましたね。まだまだ遅々として進まない部分もあり、現地は大変なことでしょう。我々は遠く離れてはいますが、日々の日常を続けることも支援に繋がると思います。しっかりと目の前の患者さんや利用者の方々を支えていきたいですね。

さて、教育部では今年度事業も無事終了し、先の総会におきまして2012年度の事業計画もご承認いただきました。これも一重に皆様方のご協力のおかげです。心よりお礼申し上げます。発足5年目を迎えた2012年度も教育部一同、頑張っておりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

2012年の、各班の活動は...

◎卒業教育班：4年目になります各ブロック・地区での卒業教育研修会(初級編・中級編)は皆様のご協力の下随時開催されます。卒業教育班では、各ブロック・地区の皆様へ、よりスムーズに研修会を開催・受講していただけるよう、開催担当の皆様と連絡を取り合っております。お忙しいとは存じますが、2012年度も引き続き積極的にご参加いただきますようよろしくお願い致します。ご意見・ご要望がありましたら、今後の参考にいたしますので、ぜひ協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記E-Mailアドレスへお寄せ下さい。

また、毎年教育部卒業教育班主催で行っております「卒業教育研修会(コミュニケーションスキル研修会)」を7月8日(日)に予定しております。臨床経験を積む毎に違った学び(理解)になるようにと、3年で一回りするよう考えて、構成してあります。以前参加した方も、新たな発見や気づきを得る事が出来ると思います。ぜひご参加いただきますようお願い致します。

◎臨床実習教育班：「熊本県版スーパーバイザーの手引き」はもうお読みいただきましたか？各施設1部の配布ですが、協会ホームページ (<http://www.kumamoto-pt.org/>) より.pdfにてダウンロードできますので、ぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にいただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の方で、この手引きを育てていただければと思います。臨床実習教育班では2012年度も、2回の研修会を予定しております。通算第6回目になる2012年度1回目の研修会は、6月3日(日)を予定し、教育と対人関係スキルについての研修会を検討中です。この研修会では、臨床実習だけでなく、基本的な教育の視点に立ち返った学びを提供したいと考えています。色々な立場の方々に参加いただきたいと思います。

ますので、奮ってご参加ください。通算7回目の研修会は例年通り星城大学の先生をお招きし、臨床実習教育の基礎について、「熊本県版スーパーバイザーの手引き」を参考にした講演を頂く予定です。こちらはこれからスーパーバイザーになる方や、スーパーバイザーの経験が浅く指導に悩んでいらっしゃる方必聴です。是非ご参加下さい。

◎管理・運営教育班：管理者教育カリキュラム(第1ステージ)を2012年度も開催します。マネジメントについてのコンテンツでは新たな講師をお迎えし、さらにグレードアップした内容になると思います。6月21日(木)開講で全4クール行ってまいります。これから部署を受け持つ準備をされる方や、現在役職を持っていてお悩みの方、いつかは私も役職を勝ち取りたいという思いも持った方など、これを機会にぜひご参加下さい。皆様にとって、より良い学びを提供できるように運営してまいります。ご期待下さい。また、第2ステージの計画も徐々に進行しております。いくつかコンテンツも調整し始めております。ぜひ受講したいという項目等ございましたら、どしどしご意見下さい。

☆もう覚えていただけましたか？教育部のビジョンは...

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き(第5版)を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
- 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒業教育での課題と思われる、基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
- 上記内容を把握し、人材(財)育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。

教育部に対する、ご意見・ご要望等ございましたら、私(前田) rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。

規約審議委員会 委員長 溝田 康司

今回の活動内容について報告させていただきます。

<2012年1月11日>

拡大理事会出席

<2012年2月22日>

規約審議委員会事業報告書及び備品台帳作成

<2012年2月29日>

規約審議委員会収支決算書作成押印

<2012年3月1日>

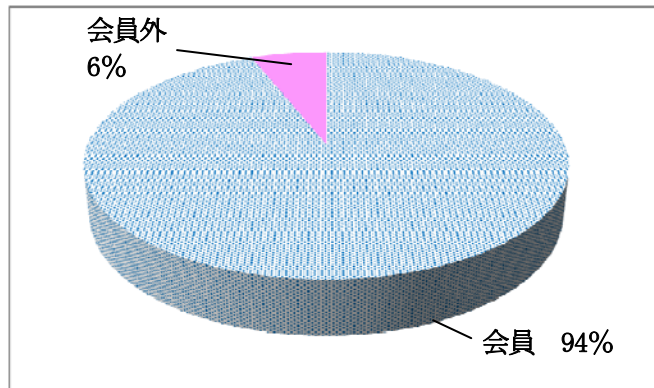
事務局へ規約審議委員会収支決算書及び残金の返金

平成23年度は特に諮問された規約に関する審議事案がなかったため、予算の執行なし。

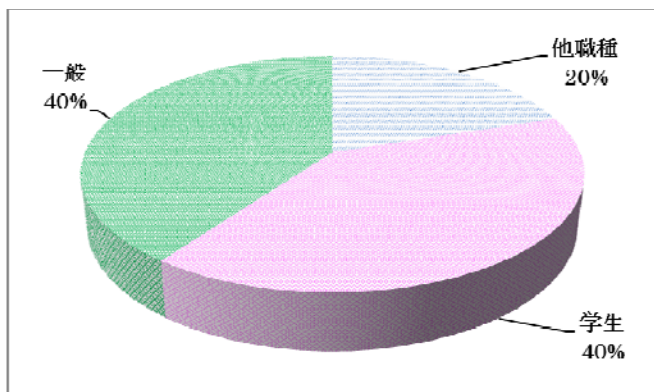
先日、天草で行われました第16回熊本県理学療法士学会のアンケート結果をお知らせいたします。

- 配布総数：132枚
- 回収：87枚
- 回収率：66%

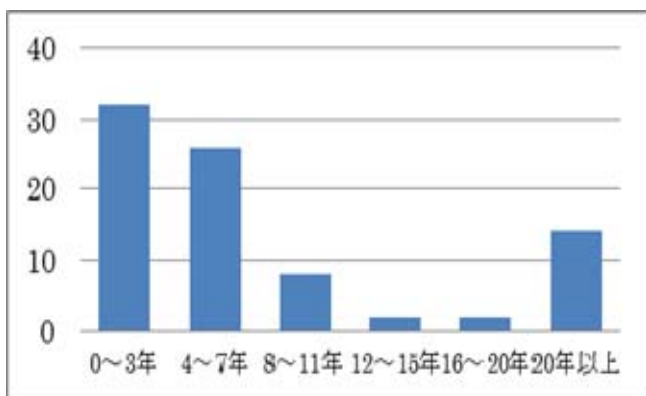
1-1.所属を教えてください



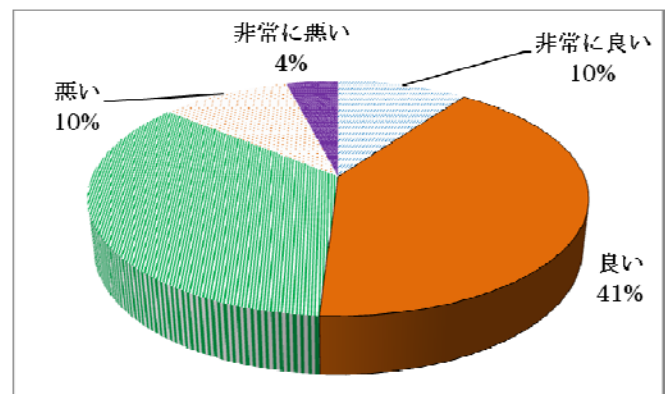
1-2.会員外と回答の方の所属を教えてください



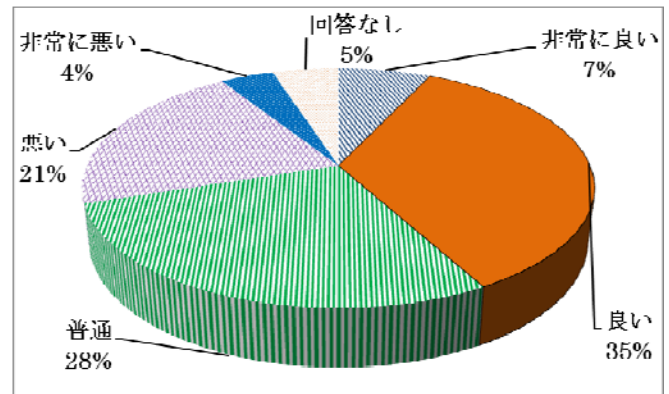
2.経験年数を教えてください



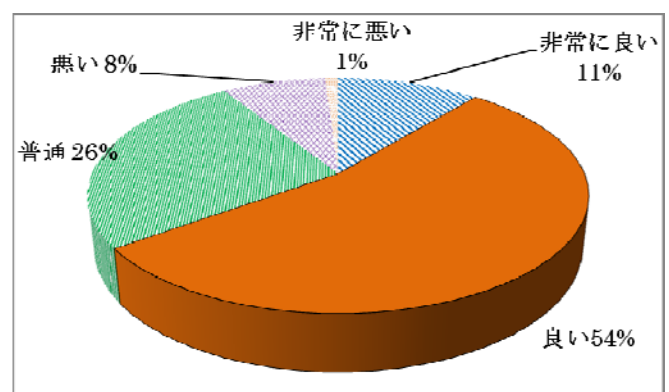
3-1.学会の時期はいかがでしたか?



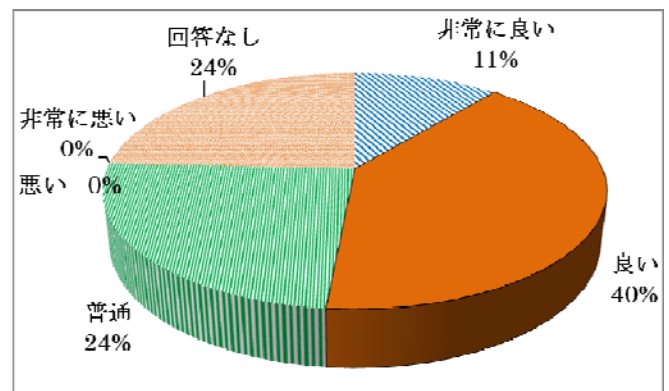
3-2.学会会場設定はいかがでしたか?



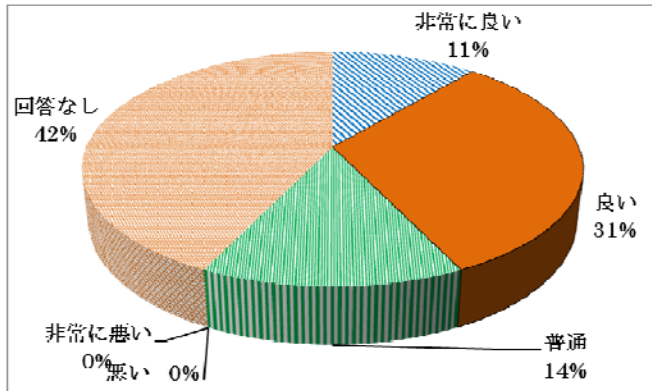
3-3.日程スケジュールはいかがでしたか?



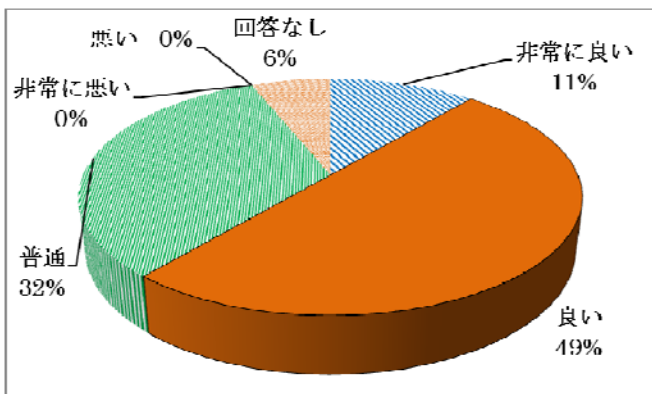
4.シンポジウム「理学療法士の啓蒙」に関してはいかがでしたか?



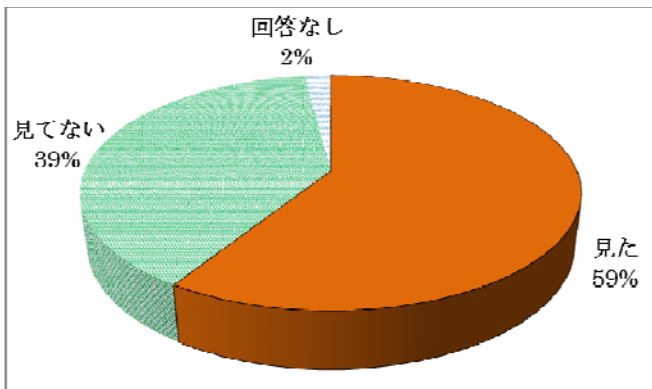
5.シンポジウム「どがんかしてくれなん・・・腰痛」に関して
はいかがでしたか？



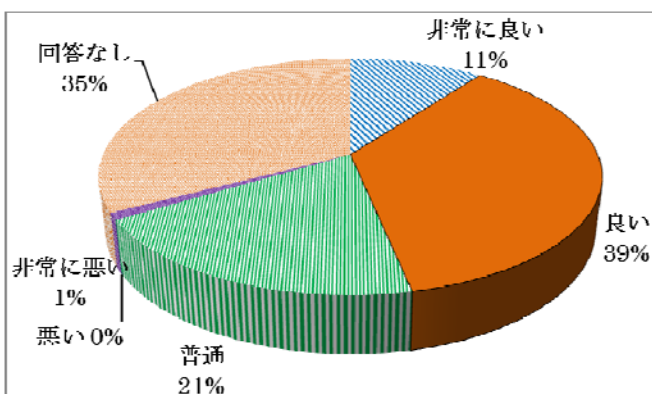
6.演題発表の内容はいかがでしたか？



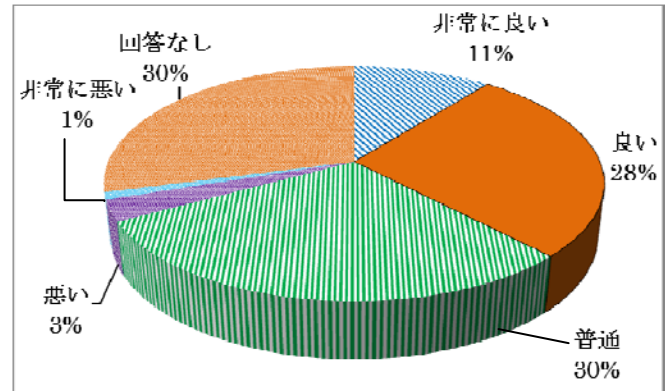
7-1.学会ホームページを見られましたか？



7-2.ホームページはいかがでしたか？



8.談話室に関していかがでしたか？



以上、第16回熊本県理学療法士学会アンケート調査結果としてご報告させていただきます。

生涯学習部 **部長 星澤 厚志**

平成24年度より研修会の申し込みおよび受付方法が変わりますのでご連絡いたします。

1) 研修会申し込み方法

研修会の申し込みは、すべて日本理学療法士協会のホームページ上から行う事となりました。案内に関しては、書面および熊本県理学療法士協会のホームページ上に掲載しますが、申し込みは日本理学療法士協会のホームページで行う事となりますのでお間違えのないようお願いいたします。

2) 研修会の受付について

包括的会員管理システムの導入に伴い、受付処理には会員証が必要となります。研修会に参加される際には、会員証を忘れずにお持ちください。

3) 専門領域のポイントについて

専門領域のポイント取得に関しては、日本理学療法士協会が認めた研修会のみにてポイントが加算されます。専門領域のポイント取得に関しても日本理学療法士協会のホームページでの管理となりますので、お間違えのないようお願いいたします。また、研修会を開催される方で、専門領域の取得対象になるかならないかは日本理学療法士協会の判断になりますので、日本理学療法士協会にお問い合わせください。

生涯学習部に関するご質問は、専用のメールアドレスにお願いいたします。できるだけ素早い対応を心がけていますが、質問の内容によってはお時間がかかる場合がありますのでご了承ください。

福祉部

部長 木原 伸一

平成24年2月4日(土)に、介護保険領域における研修会(テーマ:介護保険領域における起業や展開について)を開催しました。講師には、塩中雅博先生(ポシブル株式会社 代表取締役社長)をお招きしました。これまでこの分野で教育・研究者、そして事業家としてリハビリテーションを主軸にした新しい事業モデルを次々に開発してこられた方です。

平成24年度の診療報酬改定の基本的視点として、①地域包括ケアシステムの基盤強化、②医療と介護の役割分担・連携強化、③認知症にふさわしいサービスの提供等が挙げられていますが、これからの時代、私たち理学療法士の専門性を事業として活かしていけることを確信しました。

テーマに「起業」というキーワードがあり、重たいイメージがあったせいか、参加者の数が30名と少なかったのですが、内容は根拠のある実践の紹介もあり、業を起こすための具体的なイメージが持てたという感想が多かったと共に、現在医療機関に勤務するセラピストにとっても、包括的な考えの基で臨床における方針・方向付けに役立てていけるご講演でした。

急性期、回復期リハビリテーションは主に医療機関、維持期は主に介護保険という制度の動きの中、介護保険下のマンパワー問題は大きく、維持期でのリハサービスが受けられていないのが現状です。包括的に、シームレスにサービスの提供を行っていきたいところですが、“地域貢献にどのように取り組んでいくのか”“いかに自分たちの専門性を事業として活かしていけるのか”“そのために今何をすべきなのか”多くのことを学ばせていただきました。福祉部は、来年度も介護保険領域における研修会を開催いたします。会員の皆様の多くのご参加をお待ちしています。

表彰審査委員会 委員長 山下 智弘

『平成23年度 協会会員表彰』の候補者推薦の時期になりました。協会表彰規定により、『りんどう賞』:本会の活動において、著しく貢献したと認められる者(協会としては比較的若い会員を該当者としており、新人賞的な位置づけをしております)に該当する会員の方を、ご推薦下さるようお願い致します。昨年は、1名の先生方が受賞されております。各部部长・各委員会委員長および各ブロック長の方宛に、「りんどう賞候補者推薦依頼文」および「受賞候補者 推薦書」をお送りしておりますので、4月6日(金)までに、ご推薦下さるようお願い致します。表彰は5月に開催予定の『平成24年度第1回 熊本県理学療法士協会総会』におきまして、執り行います。

また、「かくどけい100号」にて、平成23年度新規入会の会員さまを対象とした「表彰に関するデータ入力」ならびに、2年毎に実施しております、全会員さまを対象とした「表彰に関する資料データの更新」を依頼しましたが、データ入力をしていただいた会員方が少ないようです。今回、各施設に1部「表彰に関する資料データの入力・更新について」を同封しておりますので、施設内で回覧いただき、速やかに入力・更新いただきますようよろしくお願い致します。

<推薦書提出および問い合わせ先>

〒869-0502

宇城市松橋町松橋1445番地1

宇賀岳病院 リハビリテーション部

TEL:0964-32-3111(内線:695)

E-mail:ugadake-rihashien@reimeiki.jp

担当:山下 智弘

宣伝部

部長 草野 隆夫

平成24年2月15日(水) 19:30~ 事業部会議へ参加

場所:熊本駅前看護リハビリテーション学院

参加者:草野

内容:平成24年度 第10回

くまもと「PTあ!(ピタ)」っと健康講座の準備

開催日:平成24年8月5日(日)

【確認事項】

・今後のタイムスケジュール

・各準備の進捗状況報告

・宣伝部からの報告

ポスター掲示(5月~8月)

パンフレットの郵送先

県下の高校(教育委員会に確認済)

医療系の養成校

介護系事業所 訪問看護、訪問介護、訪問リハ、
居宅支援など

宣伝部の協力体制

郵送作業と事前準備、当日は人員派遣予定

・次回の会議開催日:平成24年3月15日(木)

場所:第二コスモピア

ユニホームの貸し出し

平成24年1月21日 平成23年度熊日・スミセイ

「さわやか介護セミナー」

平成24年1月29日 学部:第3回学術研修会

平成24年2月19日 熊本県理学療法学会



事務局だより

〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 1/9 公益法人対策特別委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/10 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会：九州中央リハビリテーション学院
- 1/11 第3回拡大理事会・第11回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/18 熊本市介護認定審査会
：熊本市西保健福祉センター
- 1/19 組織検討特別委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 1/23 熊本県各圏域地域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会
：くまもと県民交流館
- 1/24 熊本県プライマリ・ケア研究会世話人会
：熊本県医師会館
- 1/27 賛助会員懇談会：アークホテル熊本
- 1/31 阿蘇圏域内脳卒中地域連携クリティカルパス推進事業研修会打合せ会
：熊本リハビリテーション病院
- 2/1 熊本市介護認定審査会
：熊本市西保健福祉センター
- 2/1 第12回理事会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/5 糖尿病小委員会研修会
：熊本リハビリテーション病院
- 2/15 九州理学療法士・作業療法士合同学会会場下見
：熊本国際交流会館、崇城大学市民ホール
- 2/15 熊本市介護認定審査会
：熊本市西保健福祉センター
- 2/15 県南ブロック訪問：水俣総合医療センター
- 2/19 熊本県理学療法士学会：天草市民センター
- 2/21 熊本市ブロック訪問
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 2/22 九州理学療法士・作業療法士合同学会会場申込説明受講：熊本国際コンベンション協会
- 2/23 県北ブロック訪問：玉名郡市医師会館
- 2/27 八代ブロック訪問：宇賀岳病院
- 2/28 九州理学療法士・作業療法士合同学会実行委員会：九州中央リハビリテーション学院

会員数 (H24. 2. 29 現在)

賛助会員 10 社 休会会員 150 名

ブロック名	施設数 〔 ()内の自宅会員数を 含んでいます。〕	会員数
熊本市	254 (55)	1152
県北	62 (10)	190
八代	70 (9)	221
天草	38 (1)	82
県南	16 (1)	38
合計	440 (76)	1683

掲示板

■ 「県外異動」、「入会」、「休会」、「復会」、「退会」

に関し熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。
各種届出書式に関しましては、熊本県理学療法士協会会員名簿をご参照下さい。
ご不明な点は事務局までご連絡下さい。
なお、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。

■ 平成23年度会費納入について

今年度も多数の会費未納者がいらっしゃいます。未納の方へは日本理学療法士協会より随時、コンビニ・郵便局振込票が送付されているかと思っておりますので、速やかな会費納入にご協力お願い申し上げます。
また、会費未納の方へは個別に納入のご連絡をさせていただきますので、併せて宜しくお願いします。
なお、ご不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。

会費銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000 円
名義：社団法人
熊本県理学療法士協会
理事 北里堅二
電話：096-389-6463
住所：熊本市小山2-25-35



県北ブロック

酒見 亮

冬の厳しさも和らぎ、春の息吹を感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。今年度ブロック長という大役を務めさせていただき、あっという間に1年が過ぎました。ブロック内活動におきまして不慣れな点も多々あり、会員の皆様には色々ご迷惑おかけいたしました。

今回の県北ブロック活動報告ですが、1月26日に介護老人保健施設平成ドリーム館にて症例検討Ⅱ新人発表が行われました。今回は11演題と新人会員をはじめ多くの会員の方々に発表して頂きました。私も新人発表の際の緊張感を思い出しながら参加させていただきました。諸先輩の先生からの多くの質問や意見が飛び交い、有意義な新人発表となりました。発表されました会員の皆様お疲れ様でした。これを機に、県学会や九州ブロック学会、全国学会での研究発表へと繋げていただきたいと思います。

さて、今年度もあと少しとなりました。健康福祉まつりの協力参加や卒後教育研修会、症例検討Ⅱなどブロック内活動も無事に終了することが出来ました。これもご尽力いただきました会員皆様のお陰と深く感謝申し上げます。ありがとうございました。今年度にてブロック長を退任し、次年度のブロック長を今年度副ブロック長でありあますデイサービスセンター菖蒲苑(山鹿地区)の菅原先生にブロック長を引き継いでいただけたこととなりました。今後とも会員の皆様にはブロック内活動にご協力いただきますよう宜しくお願いいたします。

八代ブロック

塚島 靖博

インフルエンザ猛攻で、病院職員もダウンして勤務調整が大変のようです。私は先日から花粉症症状が出始めて、くしゃみ・鼻水・目のかゆみと憂鬱な時期がやってきました。

八代ブロックの活動としては、1月15日に松橋地区の症例検討Ⅱがメディカルカレッジ青照館で8名の先生により演題発表されました。42名の参加があり、質疑応答も活発に意見が出て学会と変わらずしっかりと運営されており、宇賀岳病院の山下先生にはいつも頭が下がります。

2月27日には、協会長ブロック訪問が開催され、28施設・50人の参加があり、北里会長・坂崎事務局長より公益法人進捗状況・組織改編に関する説明と、中島連盟会長より会費・山口和之議員サポーターズクラブ入会の案内がありました。

3月3日に八代・人吉地区の症例検討Ⅱを人吉総合病院で3名の会員の発表で開催予定です。沢山の会員の参加を期待しています。

年度末になり溜まった書類が山のように・・・年度越にならないように暇を見つけてポチポチ整理中です。

ブロック長になってもうすぐ1年ですが、何かあっという間に流されてきたような感じがします。来年度は腰を据えてブロック運営に力を入れたいと思います。皆さんよろしくお願い致します。

天草ブロック

水田 順司

天草ブロックの活動ですが今年一番のイベントでありました第16回県学会も無事に終了する事ができ、この場を借りてご協力いただきました北里会長を始めシンポジストの東先生、飯星先生、鏑木先生、また各セッションの座長、演者の先生方、学会評議員、理事の先生方大変お世話になりました。当日は熊本城マラソンや各イベントが重なり、参加者が集まるか不安でしたが、267名の会員に参加頂き、また午後の市民公開講座には76名の市民の方にお越しいただきました。また市民公開講座後には市民の皆様への相談ブースを設け、日頃の悩みなどの相談を飯星先生、鏑木先生、各小委員会の先生方に最後まで丁寧にご指導頂きありがとうございました。



【学会長江崎のあいさつ】

3月10日(土)には今年度最後となるブロック活動として成尾整形外科病院の城内若菜先生をお呼びして「骨盤帯の検査と治療」と題しまして午後より特別講義を開催する予定です。これを持ちましてブロックの年間活動全ての日程が終了します。また来年度も色々な勉強会を開催していきたいと思いますので、積極的に勉強会への参加をお願いいたします。

大 観 望

『後悔しないということ』

福祉部部長
山鹿温泉リハビリテーション病院
木原 伸一

ようやく寒さが和らぎ、桜の花の頃となりましたが、4月の同時改正への対応に向けて皆様も忙しい日々を過ごされている事と思います。また東日本大震災から一年が過ぎ、皆様にとっても色々と考えさせられる事の多い一年だったのではないのでしょうか。

私の周囲でも出来事があり、色々と考えさせられる事の多い一年だったように思います。母の脳梗塞発症や、お世話になっている2名の先輩の脳出血発症です。二人とも50代前半で、「人生は一度きりだから、、、」と仕事も遊びも徹底してやろうと話されて、寝る間を惜しむように活発に行動されている先輩達でした。その分、健康面への配慮が少なかった部分もあったようで、「こんなはずでは、、、」「もっとやらなければいけないことが、、、」と面会時に話されている言葉を聞いて、ガッツのある方々ですからリハビリも頑張られて社会復帰を果たしていかれる事と信じていますし、もっと素敵な後ろ姿を見せていただける事と思いますが、反面「後悔しない生き方とは何か」というテーマについて、改めて考えさせられてしまいました。

「後悔」の定義を、「すべきでないことをしたこと、すべきことをしなかったことで、不幸、失意、自責の原因になること」とした場合、「もしそれをすれば(しなければ)後悔することになるのか」という自分への問いを投げかける事が大切になるでしょう。

「後悔しない生き方に向けて」自分なりに文献を読みながら、大切だなと感じている事を分かち合いたいと思います。「幸せを追求していくこと」「自分の人生の中で大切にしていることは何か」「物や地位よりどんな生き方をしてきたのかの大切さ」「家族や仲間の大切さ」「自分の軸や価値観を見つめること」「やりたくないことを明確にすることでやりたいことが見えやすくなること」「優先性を明確にすること」「ビジョンと計画と行動」「どんな仕事をしてきたのか、自己実現は」「感謝」「行動の際の後悔するか、しないか、の問いかけと決断」「自分の心の声を聞いているか」「生活や人生の中での balan

スのとり方」などなど。最近では地震を含めていつ何時何が起こるかわからないように感じる事も多くて、少しでも後悔の少ない充実した人生に向けていきたいと改めて考えているこの頃です。機会があれば諸先輩方や皆様方のアドバイスを楽しみにしています。

『介護報酬改定を受けて』

生涯学習部部長

星澤 厚志

自分がこの原稿を書いている頃、自分は現場にはいない。次の職場へ移る準備をしている。実に3回目の転職であるが、2回目3回目は決して後味のいいものではなかった。今回ばかりは3度目の正直としたいところである。

自分が医療から介護の世界に移ったのは6年半前になる。在宅を中心としたリハビリテーションを展開したく、期待を持って移ったのだが、現実はその甘くはなかった。老健という現場は、入所と通所をはじめとしていろいろな部署を兼務される。しかもセラピストの配置基準は入所者100名に対し1名(50:1であれば加算)。そんな中で十分なリハビリテーションが展開できるはずもなく、常にジレンマとの戦いであった。

折しも医療と介護の同時報酬改定が行われたが、老健にとっては厳しい改定となった。中間施設としての位置づけを強化しなければ、生き残れない報酬となった。しかも、リハビリテーションの充実をうたいながらセラピストの配置基準100:3の改訂は行われなかった。これでは在宅復帰率の向上は困難なままだと言わざるを得ない。厚労省は老健の統廃合でも行おうとしているのか？はたまた、セラピストの能力を試しているのか？いずれにせよリハビリテーションの充実=セラピスト配置の充実ではない事は確かとなったようだ。つまり以前から言われているような、セラピストの質の向上が問われる時代が待たなくなってしまう。本当の意味でセラピストにとって生き残りをかけた戦いが始まったのである。

とは言うものの、次の報酬改訂までは我慢の時期なのであろう。それまでの間に、リハビリテーションにはセラピストが必要不可欠！という実績を作らなければならない。試練の道は続く...しかし、明るい未来は待っている...はずである。共にがんばろう！



学会・研修会印象記

『全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会
19 回研究大会 in 京都に参加して』

熊本リハビリテーション病院 武富正芳

2月4～5日に国立京都国際会館で開催された『全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第19回研究大会 in 京都』に参加し、口述発表を行いました。今回は「さらに高めよう 在宅へのアプローチ～医療・介護の機能分化とその再編に向けて～」というメインテーマのもと、参加者2000名以上、発表数も約500題と大変活気のある大会でした。

私は「FIM信頼性に対する臨床経験の効果～臨床実習指導者と学生を比較して～」の演題を発表しました。2回目の全国発表でしたし、緊張せずに行いました。しかし、発表直前になり急に心拍数が上昇し不安になりましたが、一緒に参加した病院スタッフを見て落ち着くことができました。会場では立ち見の参加者もあり、参加者からの質問を受け、若いスタッフの多い回復期リハ病棟では職員教育に関心が高いことが伺えました。また回復期リハ病棟は量的には充実してきていますが、今後は質的にも充実し客観的に評価する必要があると感じました。

昼食の間には清水寺・下鴨神社の世界遺産2つを訪れ、心も体も癒されました。清水寺は「清水の舞台から飛び降りる」という言葉の表す通り、高さにもビックリしましたが京都市を一望できる絶景に感動しました。しかし高校の修学旅行以来訪れた清水寺・・・あれから15年も経ったと思うと少し悲しい気持ちになりました。下鴨神社では鳥居の大きさに驚いていたら、神前式を終えた2人が寄り添って歩く姿を見て幸せを分けてもらいました。

研究や発表には仮説検証など、企画から統計など様々な問題がありますが、色々な文献を読み自己研鑽にもなり、病院の知名度 up にも繋がります。今後も研究や学会発表ができるよう頑張ろうと思いました。



『第16回熊本県理学療法士学会に参加して』

熊本機能病院 手嶋仁美

平成24年2月19日に天草市民センターにて開催された第16回熊本理学療法士学会に参加し、発表を行いました。今回の県学会は、「ブランドキャラクター～我々は理学療法士である～」のテーマのもと開催されました。開会では県理学療法士協会の北里会長よりご挨拶を頂き、リハビリテーションの歴史、社会のなかでの理学療法士の現状を再確認することができ、社会に対して理学療法士を知っていただく為には、自分達がアピールしていくことが大事であると改めて気づかされました。開会后、午前中より3会場に分かれ発表が行われました。私は理学療法士免許を取得して2年目ですが、今回が初めての研究発表でした。今までは研究にあまり熱心ではなく、他の方がされる研究発表を聞いても殆ど理解することが出来ていませんでした。今回は研究内容の資料集めや、口述発表の準備に至るまで全てが分からない事ばかりでした。しかし、一つ一つを自分なりに調べ、諸先輩方にアドバイスを頂き、考える作業を行った事で改めて研究の重要性を実感することができました。

発表当日はすごく緊張しましたが、発表後は質疑応答以外にも談話室でアドバイスを頂くことができました。今回、自分なりにスタンスで研究に取り組んだ事で、そのプロセスを理解し他演者の発表を今まで以上に興味を持って聞く事ができて面白かったです。午後からの市民公開講座では、天候が良いのも幸いし、多くの市民の方にお越し頂きました。東北大震災後に理学療法士が現地で行った活動報告や、腰痛の基礎知識や自己管理方法などを講師の先生方にお話頂きました。やはり、東北大震災への関心はとて強く、腰痛に関しても一般市民の皆様が困っている問題なんだと強く感じました。

改めて今回の学会を通じ、多くの先生方・先輩方から貴重なご意見やアドバイスを頂くことができました。また、研究作業を通じて、研究の面白さや難しさ、他者へ伝えることの大変さなど多くのことを実感し少し成長できたように思います。

来年は熊本市・北ブロック主催で学会が開かれます。今後も他施設の会員の皆さんとの交流を深め、視野を広げていけたらと思います。帰路においては安堵感からか空腹となり、美味しい海鮮丼を食べ天草を満喫できた楽しい1日となりました。

理学療法士会 便利神奈川

『ターニングポイント』

理学療法士になり、とうとう臨床20年目を通過いたしました。大学を卒業して就職された方であれば、40歳前半となるわけでありませぬ。日本人の平均寿命は男性が79.64歳、女性が86.39歳(厚生労働省 平成22年簡易生命表より)と男女差はあるもののおおよそ80歳代と考えると、人生の後半戦に突入する時期ということになります。サッカーで例えれば後半戦の立ち上がりの場面。ハーフタイムに前半戦の反省と後半戦をどのように展開していくかを決定し、気持ちを切り替え試合展開していくためにはとても重要な時間帯となります。攻め重視で行くのか、守りを固めるのか、まさに試合展開の分岐点となります。人生も同様に、後半戦をどのように展開していくのかを考えるととても重要な時期であります。生き方のスタンスをどのように捉えるのかによって、その後の展開は大きく異なります。まさにターニングポイント。われわれ理学療法士は臨床場面において、守りを固めることはとても重要なことではありますが、守るだけであればそれほど難しいことではないように思います。従来の既成概念の臨床展開のみを行ない、ベルトコンベア方式を確実なものにすれば、間違いなく守りを固めることはできるかもしれません。更に病院や施設でケーシーや白衣を身にまとい、患者さんや利用者さんの前に立てば、見た目だけは充分立派なプロフェッショナルになり、ルーチン業務を行っていても批判されることはそれほど多くないかもしれません。守ることすら出来ない理学療法士は論外であります。守りを固めるだけでは時間がどれほどあっても新たな展開を期待することは出来ませぬ。後半戦序盤で守りに入った試合を見て面白さを感じるのでしょうか。面白い臨床(人生)を展開するためには攻めることがとても重要になってくると思います。前半戦に自分が何をしてきた

のかを確実に受け止め、後半戦あらためて攻め続ける臨床展開をすることによって、得点を挙げるチャンスは格段に上がります。勿論理学療法士にとって働く現場は臨床だけではありません。それぞれの環境において自分が何をすることが出来るのかを追求していくことが攻めの第一歩になるのではないのでしょうか。

人生後半の話をしてきましたが、前半戦真っ只中の若い理学療法士の皆さん、前半戦は是非是非攻め続ける事をお勧めします。攻め続けた結果、ハーフタイムを経て後半戦の展開が見えてくるはずですよ。

どう攻めていこうかと悩んでいる方にちょっと忠告。あまり悩みすぎると表情が暗くなります。実はこれは大問題で、ある本に「表情のない人と表情の豊かな人では、仕事の振られ方が違うし、チャンスを獲得する数が違う」と書かれています。悩みすぎていると眉間にしわがより表情が硬くなります。ヨガの言葉で眉間のことを第6のチャクラと言うようですが、この部分が閉じているか開いているかで印象は全く異なります。まずはチャクラを開いて、攻めの展開を楽しみませんか。

(神奈川 No. 243)

学会・研修会のお知らせ

第34回日本呼吸療法医学会セミナー

- 日時：5月19日(土) 8:55~17:00
(開場・受付開始8:30)
- 会場：神戸国際会議場3階会議室
神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL：078-302-5200
- 主催：日本呼吸療法医学会セミナー委員会
(委員長 藤本潤一)
- 対象：理学療法士、看護師、臨床工学技師など
※本セミナーを修了されましたら、「3学会合同呼吸療法認定士」更新申請の点数(25点)が付与されます。
- 定員：270名(申込先着順)
- 受講料：11,000円(消費税込、資料代・昼食代含む)
- 日本呼吸療法医学会セミナー委員会ホームページ
URL：<http://resp-sem.umin.jp/>
- 問い合わせ先：株式会社メディカ出版内
日本呼吸療法医学会 事務局
TEL：06-6385-1807
FAX：06-6385-0880
E-mail：kokyu-seminar@medica.co.jp



「マラソン後(練習後)のケアの仕方」

先日2月19日(日)、『第1回熊本城マラソン』が開催されたことは記憶に新しいことと思います。政令指定都市移行を記念したこのイベントに、全国各地から集まった約1万人の市民ランナーが城下町を駆け抜けました。



近年、朝夕を問わず走られている方をよく見かけるようになって来ました。『私も走りたいな〜』とは思うのですが、なかなか……。今回は、熊本県理学療法士協会のスポーツ小委員会が、マラソン後(練習後)のケアの仕方をご紹介致します。

● レース後の水分補給

直後には、まずは水分補給をしましょう。さらに、糖分会と一緒にとるとベスト。できれば、スポーツドリンクなど、糖分に加え必要な水分とイオン(電解質)を早めに補給しましょう。また、ビタミンCやクエン酸を含んでいる100%ジュースもオススメです。

● アイシング

レース中に脚を痛めた場合、あるいは痛みを感じた箇所を早急に氷でアイシングしましょう。冷やす時間目安は、20分ぐらい。

● クーリング・ダウン

レース後、軽いジョギング、ストレッチを行い、疲労物質の乳酸を蓄積させないようにする。また、入浴時に大腿部、ふくらはぎ等をマッサージするのも良いでしょう。

● 大会後(フルマラソン)の休養

フルマラソンの疲労が取れるには、1か月必要だとされています。その期間は、激しい運動を避けましょう。

● レース後の食事

① 最低2週間は「体調を崩しやすい状態になっている」と心得る

胃や肝臓など、食べたものを消化する内臓も疲れています。さらに、免疫力も低下しています。

② 暴飲暴食は避ける

最低でも2週間は、暴飲暴食は避けましょう。飲み会がある方も、このときばかりは少し控えめに。

③ 内臓に優しい食事を心がけて

内臓に優しい食事というのは、消化しやすい食事のことです。脂肪たっぷりの揚げ物や、味付けの濃いものは、消化不良になったり、エネルギーを使うため、内臓に負担をかけることとなります。



無理をしないで自分の身体を気遣うことも、何よりも『また、楽しく走る』事に繋がると思います。

医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

トップガード

手や足をけがすると、入浴するのもひと苦労です。擦り傷程度ならちよっとしみるのを我慢すればいいのですが、骨折や火傷などでギブスや包帯を巻いているときは本当に困ります。

「トップガード」は防水入浴用プロテクターです。厚手で丈夫な塩化ビニール樹脂素材で、手や足にしっかりとフィットし、お湯の侵入を防いでギブスや包帯をぬらすことはありません。

特殊な口元のゴムを広げながら手や足を入れますが、ゴムはかなり伸びるので片手でも簡単に装着できます。装着してゴム部を外側に張り出させ、肌に密着させるのが水漏れを防ぐコツです。

これで安心してお風呂に入れます。サイズは腕用・脚用それぞれ3サイズあり、繰り返し使用できます。



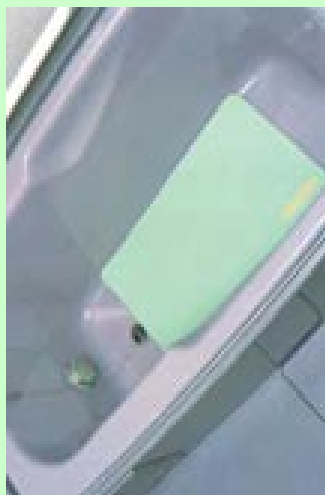
浴槽内滑り止めマット

浴槽の出入りや浴槽内の立ち座りで、ツルツと滑ったことはありませんか？

浴室は濡れていたり、石鹸やシャンプーの泡があつたりして、住宅で最も滑りやすいところ。足腰が弱ってくるといくら注意していても転倒の危険性はつきものです。

「浴槽内滑り止めマット」、浴槽の底に敷いて足やお尻が滑らないようにするマットで、吸盤式と据置式があります。吸盤式は、マットの裏側に円弧上に多数の吸盤がついていて横ずれしにくいタイプ。据置式には2種類あって、浴槽内に張り付けるものとマットの重さで沈みこませるタイプがあります。

多くのメーカーから出ていて、サイズや色も豊富にあるので、家庭の浴槽に合わせて選んでください。



杖留めワンタッチ

杖を手放せない人が洗面所を使った時、買い物で財布からお金を出したりするときは、どうしても両手を使わないとうまくいきません。でも杖から手を離すと倒れてしまい、杖の置き場に困ります。

「杖留めワンタッチ」はその名の通り杖を留める器具。あらゆる場所で杖を倒さずに確実に置ける、なかなかの優れたものです。

テーブルやカウンターなどに接する面は特殊粘着シート加工してあります。だから平面にピタッと張り付いて杖をしっかりと支えます。外すときは杖を持ち上げるだけ。使い方はとても簡単です。

粘着シートは汚れたら洗えるし、粘着力も復活するので何回も繰り返し使えます。柄はスクラ、フルーツ、チェックの3種類です。



PT Walker くまとの理学療法情報 熊本

★訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門職が、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）を訪問して行われる、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とするリハビリテーションをいいます。

訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

★介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的として、一定の期間、利用者の居宅で提供されるリハビリテーションをいいます。介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について、厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

県内で理学療法士が訪問リハビリテーションを行なっている施設を地区ごとに紹介します

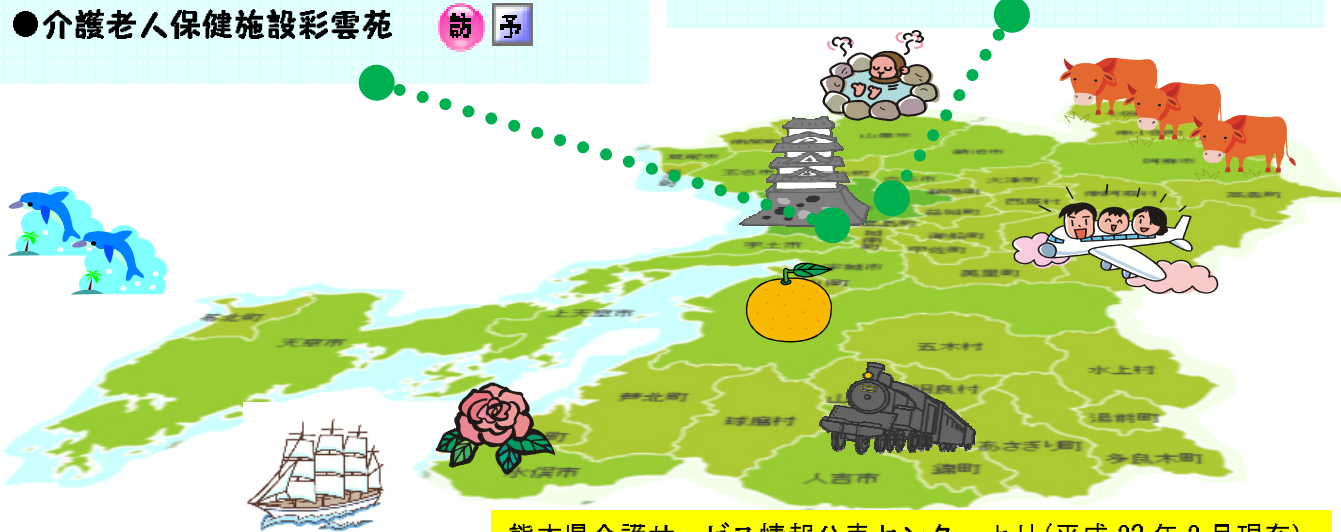
訪：訪問リハビリテーション 予：介護予防訪問リハビリテーション

◆熊本市ブロック 南地区

- 桜十字病院 訪 予
- 御幸病院 訪 予
- 近見内科小児科医院 訪 予
- にしくまもと病院 訪 予
- 荒瀬病院 訪 予
- 瀬戸病院 訪 予
- 介護老人保健施設彩雲苑 訪 予

◆熊本市ブロック 東地区

- くわみず病院 訪 予
- くまもと成仁病院 訪 予
- 熊本託麻台病院 訪 予
- 西日本病院 訪 予
- 帯山中央病院 訪 予
- 介護老人保健施設コスモピア熊本 訪 予



熊本県介護サービス情報公表センターより(平成23年2月現在)

国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)
熊本キャンパス (熊本県熊本市)

【修士課程】保健医療学専攻

医療福祉学研究科

【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野
ナースプラクティショナー
養成分野
助産学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
放射線・情報科学分野
リハビリテーション学分野
生殖補助医療胚培養分野
視機能療法学分野

看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
視機能療法学分野
創薬育薬医療分野
医療福祉経営学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
生殖補助医療胚培養分野
医療福祉国際協力学分野

【修士課程】医療福祉経営専攻

医療経営管理分野
診療情報アナリスト
養成分野
創薬育薬医療分野
がん薬物療法学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
医療福祉ジャーナリズム分野
医療福祉国際協力学分野



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能!
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能! (修士課程)

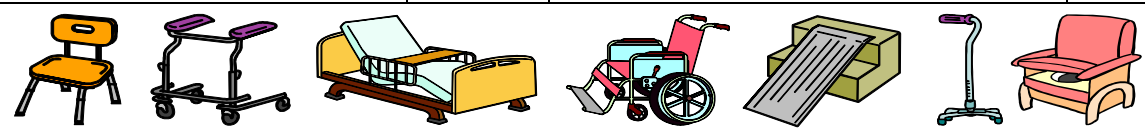
<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1
TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp
【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL:0944-89-2000 E-mail:oocamp@iuhw.ac.jp
【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本総合医療リハビリテーション学院内)
TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



事業予定表

4 月		5 月		6 月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	日	1	火	1	金
2	月	2	水	2	土
3	火	3	木	3	日
4	水	4	金	4	月
5	木	5	土	5	火
6	金	6	日	6	水
7	土	7	月	7	木
8	日	8	火	8	金
9	月	9	水	9	土
10	火	10	木	10	日
11	水	11	金	11	月
12	木	12	土	12	火
13	金	13	日	13	水
14	土	14	月	14	木
15	日	15	火	15	金
16	月	16	水	16	土
17	火	17	木	17	日
18	水	18	金	18	月
19	木	19	土	19	火
20	金	20	日	20	水
21	土	21	月	21	木
22	日	22	火	22	金
23	月	23	水	23	土
24	火	24	木	24	日
25	水	25	金	25	月
26	木	26	土	26	火
27	金	27	日	27	水
28	土	28	月	28	木
29	日	29	火	29	金
30	月	30	水	30	土
		31	木		
※4/7(土) ・熊本駅前リハビリテーション学院・ メディカル・カレッジ青照館入学式 ・熊本総合医療リハビリテーション学院入学式 ・西日本リハビリテーション学院入学式		※5/20(日) ・熊本県理学療法士協会杯 グラウンドゴルフ大会 ・第1回学会評議員会 ・第1回ブロック長会議		第2回保険診療研修会 第1回臨床実習教育研修会 第2回天草ブロック勉強会 荒尾市健康福祉まつり	
第2回理事会 平成23年度事業監査 九州看護福祉大学入学式 九州中央リハビリテーション学院入学式		※5/25(金) ・教育部会議 生涯学習システム説明会 第1回天草ブロック勉強会 第1回県南ブロック勉強会			



医療機器トピックス

ミナト医科学株式会社 福岡営業所
〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378

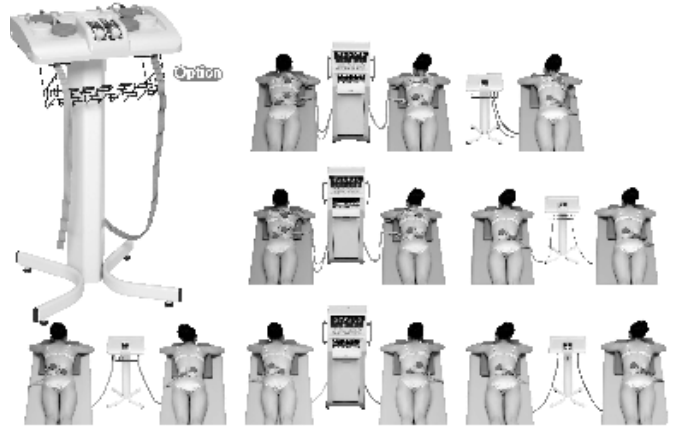
6チャンネルを効率的に稼働させるスタンドリモコン (PAT.P)

干渉電流型低周波治療器 スーパーカイン

Superkine
SK-10W DX

新発売

完全独立6チャンネルにより
治療効率がアップ

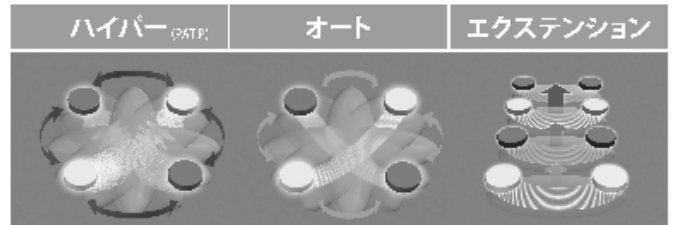


チャンネル毎に治療モードの設定が可能
6台のポンプで全チャンネルを安定吸引



新設計のスリムフィット導子
(PAT.P)
①吸着が付きにくい軽量設計
②衣服内に装着しやすい薄型設計

症状で選べる新治療モード



編集後記

2011年3月の東日本大震災から一年。あの日の出来事から、コンセントに差込めばいつでも流れている電気の大切さや蛇口を廻すと当たり前に出る水やお湯のありがたさを再認識させられた。そして何より家族や友人・同僚と送る「普通」の日々が「特別」な毎日であるということを知った。

月日とともにそれらを風化させ忘れることのないよう、心に焼き付けておきたい。

(I・Y)



社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号 数 第102号 通算139号
発行日 平成24年3月19日
発行人 社団法人熊本県理学療法士協会
〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
TEL/FAX 096-389-6463

STAFF

佐藤 亮	坂田 大介
江口 宏	岩村 泰年
緒方 美湖	山田祐理子
奥 蘭 彩	富 永 誠
野田 智愛	北岡 千春
渡邊 知子	松本 美香
有馬 正英	古川 晃次
財満 麻美	渡邊 大輔
福田 圭祐	中野 真実
南 留美子	岩見 幸省
野尻 晋一	(表紙)

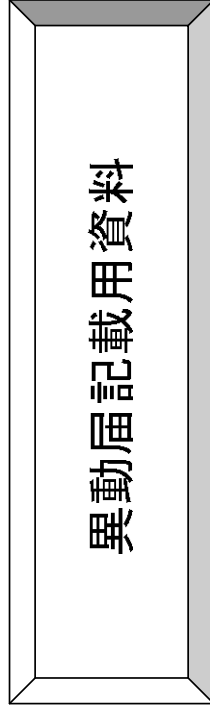
施設区分 (I)

B群

1	厚生省	
2	文部省	
3	労働福祉事業団	
4	旧三公社 (たばこ産業・JR・NTT)	
5	都道府県	
6	市区町村	
7	日赤	
8	済生会	
9	北海道社会事業協会	
10	厚生連	
11	国民健康保険協会連合会	
12	全国社会保険協会連合会	
13	厚生団	
14	船員保険会	
15	健康保険組合及びその連合会	
16	共済組合及びその連合会	
17	国民健康保険組合	
18	公益法人 (社団・財団)	
19	医療法人	
20	学校法人	
21	会社	
22	その他の法人	
23	老人福祉施設	
24	身体障害者更生援護施設	
25	児童福祉施設	
26	精神薄弱者援護施設	
27	その他の社会福祉施設	
28	個人	
29	その他 (含む自宅)	

A群

医療施設	病院	大学病院	1 - 1
		総合病院	1 - 2
		老人病院	1 - 3
		小児病院	1 - 4
		一般病院 (上記以外)	1 - 5
		精神病院	1 - 6
		結核病院	1 - 7
		らい病院	1 - 8
		その他	1 - 9
	診療所	診療所・医院	2 - 1
医療福祉中間施設		老人保健施設	3 - 1
		訪問看護・PT	3 - 2
		在宅サービス	3 - 3
		その他	3 - 4
福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	4 - 1
		特別養護老人ホーム	4 - 2
		老人福祉センター	4 - 3
		老人デイサービス	4 - 4
		その他	4 - 5
	身体障害者更生援護施設	重度障害者授産施設	5 - 1
		肢体不自由者更生施設	5 - 2
		身体障害者療護施設	5 - 3
		重度身体障害者授産施設	5 - 4
		身体障害者更生相談所	5 - 5
		身体障害者福祉センター (A・B型)	5 - 6
		その他	5 - 7
	児童福祉施設	肢体不自由児施設	6 - 1
		肢体不自由児通園施設	6 - 2
		重症心身障害児施設	6 - 3
		薄弱児通園施設	6 - 4
		その他	6 - 5
教育・研究施設		養護学校	7 - 1
		PT教育施設	7 - 2
		研究施設	7 - 3
		その他	7 - 4
行政関係施設		保健所	8 - 1
		市町村保健センター	8 - 2
		国県市町村 (行政)	8 - 3
		その他	8 - 4
保健 (健康産業)		スポーツ関係	9 - 1
		フィットネス施設	9 - 2
		企業	9 - 3
		その他	9 - 4
その他		自宅	0 - 0
		営業 (自営・開業)	0 - 1
		その他	0 - 2
		海外	0 - 3



異動届記載用資料

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日	
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日	
フリガナ			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)	
氏 名	姓	名	印		
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 [][][][] - [][][][][]				
	住所		都道府県		
	電話			FAX	
Eメールアドレス					
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ				
	名 称				
	所属部署				
	〒 [][][][] - [][][][][]				
住所		都道府県			
電話			FAX		
施設区分	I A群	— B群		II	—

会費納入	本部会費 年度納入済	連絡事項	
	都道府県士会費 年度納入済		
	クレジットカード発行 (○で囲む)	済 未	

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄> _____ <士会受付番号> _____
 _____ 士会事務局長 _____ 印 _____ 平成 年 月 日

< 個人情報について >
 当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。
 1. 名簿管理・発行
 2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
 3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会
退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。

